

静岡県内の「みなとニュース」を紹介します

みなとしみず

SINCE 1990.6

発行



国土交通省 中部地方整備局
清水港湾事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL 054-352-4146(代表)
御前崎港事務所
下田港事務所
田子の浦港事務所

工事事故の撲滅を目指し「工事安全大会」を開催しました！

9月26日、清水マリビルで開催した本大会には、総勢33名が参加しました。当日は、静岡労働基準監督署の澤田副署長や中部地整の下田工事安全推進室長の講話、建設業者からは各現場における工事事故撲滅に向けた取り組みが報告されました。また、建設業労働災害防止協会の岡田氏より「建設現場におけるメンタルヘルス対策」について講演いただき、受発注者双方の安全衛生に対する知識や理解を深めました。最後に、建設業者の代表が「安全宣言」を述べ、全員で「ゼロ災で行くぞ、ヨシ！」と唱和し、安全意識を高めました。



出水清水港湾事務所長



澤田静岡労基署副署長



下田工事安全推進室長

建設業労働災害防止協会
メンタルヘルス対策アドバイザー
岡田氏

安全宣言の様子

緊急支援物資の海上輸送訓練に参加しました！

10月19日、静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練が行われました。関係機関による各訓練メニューの中で、当事務所は港湾業務艇「ふじ」による海上輸送訓練(大井川港から焼津漁港)を実施しました。訓練を通じて各港での入出港、接岸方法等の確認を行いました。引き続き各地方公共団体との連携を図った訓練を実施し、防災対応力の強化を図ります。また、当日は海上保安庁、海上自衛隊の船舶も訓練に参加し、大規模地震等の災害を想定し円滑な活動が実施できるよう作業の確認を行っていました。



清水港湾事務所による訓練の様子



海上保安部による訓練の様子



海上自衛隊による訓練の様子

地域のイベントに出展しました！

10月19日 清水港 興津フェア（会場）興津国際流通センター

本イベントは、清水港の活性化、貿易の振興及び港湾に関する理解を深めること、また新たな交流の場としての「賑わい創出」を目的として開催されました。当日は山梨県産のブドウや長野県産のリンゴなど名産品を求めて、販売開始直後から長蛇の列ができました。また舞台ステージや自衛隊・消防署の展示などがあり、終日多くの人で賑わいました。清水港湾事務所からはパネル展示や防波堤模型実験、消波ブロック積み体験を出展しました。



佐久市のりんごを求めて並ぶ様子



消波ブロック積み体験の様子

11月8日 土木の日イベント（会場）道の駅「開国下田みなと」

建設車両展示や海難救助訓練の実演などが行われました。下田港事務所では50t型消波ブロック（実物）の展示、消波ブロック積み体験や、業務艇「しもだ」を展示し、子供から大人まで沢山の方に土木を身近に感じてもらいました。



消波ブロック積み体験の様子



50t型消波ブロックの展示

11月22日 しずおか建設まつり（会場）清水マリンパーク

建設業で活躍するクレーン車や高所作業車などの乗車体験や鉄筋工、配管工の職業体験などが行われ建設産業の魅力が盛り沢山のイベントでした。消波ブロック積み体験は親子に大人気で終了間際まで順番待ちができるほど大盛況でした。



防波堤模型実験の様子
（パルちゃんも体験）



会場の様子

伊豆市の小学校で港について紹介しました！

11月14日、伊豆市立修善寺小学校にて、清水港湾事務所の職員が港を訪れる様々な船や港ではたらく人について紹介する出前授業を実施しました。

当日は小学5年生の児童8名が参加しており、児童達は港に関するクイズコーナーや消波ブロック積み体験のコーナーを積極的に取り組んでいました。



出前授業の様子

新たな賑わい施設へアクセスできる歩道橋が設置されました！

11月5日、静岡市清水区興津中町において、国道1号静岡バイパス上に、横断歩道橋が静岡国道事務所の整備により設置されました。これにより、興津のまちなか、JR興津駅から現在整備中の「人工海浜・緑地(静岡県事業)」「清水港海づり公園(静岡市事業)」など海側へのアクセスが向上します。設置された歩道橋は全国でも珍しい津波避難タワーの役割を兼ね備えた歩道橋です。



位置図

※令和7年3月撮影



歩道橋 夜間設置工事の様子



歩道橋設置後の様子

～「憩いと賑わい空間」興津地区の整備紹介～

人工海浜・緑地(静岡県事業)

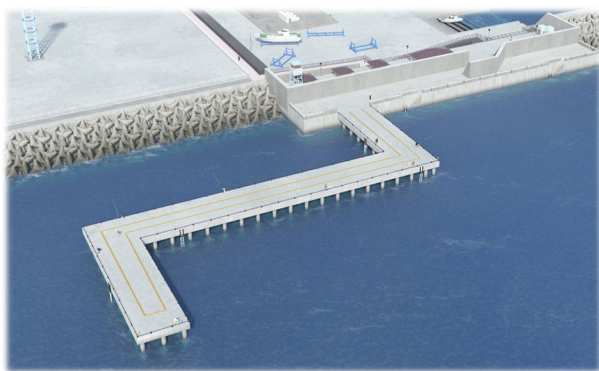
興津地区の海岸は、かつては風光明媚な海岸として親しまれていましたが、高度成長期の港湾や道路整備の埋立により、美しい自然海岸は消失してしまいました。美しい海岸の再生と賑わいのある空間づくりを目的とし、かつての興津海岸での楽しみ方(海水浴、磯遊び、散歩等)ができるよう、静岡市が整備する海づり公園と連携して緑地・人工海浜の整備を静岡県が進めています。



将来イメージパース図 ※静岡県提供

清水港海づり公園(静岡市事業)

清水港江尻地区に平成15年にオープンした、メガフロートを活用した「旧海づり公園」は、東日本大震災により被災した、福島第一原子力発電所における汚染水の貯留施設として活用されることとなり廃止されました。その代替施設として、魚釣りを楽しむことができる新たな海づり公園の整備を静岡市が進めています。新たな海づり公園は「栈橋式」構造の水深7～8mで多種多様に釣りを楽しむことができます。令和8年4月に暫定供用が予定されています。なお、清水港は国土交通省が認定する「釣り文化振興モデル港」に指定されています。



清水港海づり施設 完成イメージ図 ※静岡市提供

清水港に飛鳥Ⅲが初寄港しました！

10/20 飛鳥Ⅲ



飛鳥Ⅲは日本最大のクルーズ船で、飛鳥Ⅱの後継船として令和7年7月に就航が開始されました。

国内のクルーズ船では初めてLNG燃料※を使用できる船であり、実際に煙突からは白い煙が立ち上っていました。

また、歓迎式典では飛鳥ⅢがSDGsに配慮したクルーズ運航を目指した船であることや、今回の運航が共に日本三大美港である清水港と神戸港を通るルートである事が紹介されました。

※LNG(液化天然ガス)燃料:CO2排出量が少なく、環境にやさしい



難波 静岡市長

塚本 静岡県副知事

歓迎式典での記念撮影

10月は飛鳥Ⅲを含めて3隻、11月には1隻の船が清水港に初寄港しました。

10/13 シルバームーン



※清水港客船誘致委員会提供

10/15 ディスカバリー・プリンセス



11/4 ノルウェー جان・サン



御前崎港にダイヤモンド・プリンセスが寄港しました！

11月24日、御前崎港にて大型客船「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港し、2,652名の旅客が訪れました。寄港に際して西ふ頭2号岸壁では、なぶら御前太鼓の演奏、大漁旗を振り歓迎・お見送りしました。乗船客の2,432名が上陸され、御前崎ブランドをはじめとする30のブース、学生などによるイベントステージを楽しめました。



※御前崎市提供

歓迎イベントの様子



※御前崎市提供

会場の様子



※御前崎市提供

お見送りの様子

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル(土・日・祝日は除く)
おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間: 9時30分~12時00分
13時00分~17時00分

海やみなとに関することは何でもお問い合わせください

■お問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

TEL 054-352-4148

pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

清水港湾事務所では、学校、企業、自治会の皆様を対象に、みなと見学会を実施しています。詳細は右記の事務所HPをご覧ください！

事務所HP(QRコード・URL)



<https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>